

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

事務事業評価表の見方

事務事業評価表

整理番号	1
------	---

菊陽町教育大綱及び菊陽町教育振興基本計画に基づいた13項目の指標における整理番号を示しています。

評価対象年度	令和5年度	
担当課名称	教育委員会 学務課	
取組方針	基本施策	1 学校教育の充実
	具体的な取り組み事項	① 子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実(P.8)
		ア 「熊本の学び推進プラン」を生かした各学校の取組の積極的な支援
		イ 小学校における教科担任制や少人数指導・習熟度別指導などの実施

基本施策については、菊陽町教育大綱・菊陽町教育振興基本計画(P.7)を参照ください。

具体的な取り組み事項は、菊陽町教育大綱・菊陽町教育振興基本計画(P.8)を参照ください。

菊陽町教育大綱・菊陽町教育振興基本計画の該当ページを示しています

【取組の達成状況】

指 標				令和5年度(実績)			評 価
成果指標（事業の目的の成果を測る指標）		単位	目 標	実 績	達成率		
自己評価	県学力調査(町平均と県平均の差) (P.9)	小 国語	+3	2.4	79.2%	B	
		小 算数	+3	0.7	23.3%	E	
		中 国語	+3	3.6	120.0%	A	
		中 数学	+3	5.1	170.0%	A	
		中 英語	+5	5.2	103.0%	A	

A 達成できた(100%以上) B まあまあ達成できた(80%~) C 半分程度達成できた(60%~)
D あまり達成できなかった(40%~) E 達成できなかった(0%~)

小3	国語	1.1	算数	-3.0
小4	国語	2.3	算数	2.2
小5	国語	0.9	算数	-0.2
小6	国語	5.2	算数	3.8

中1	国語	4.3	数学	8.6	英語	7.1
中2	国語	2.9	数学	1.6	英語	3.2

上記の指標を達成するため、具体的な取組を掲げています。

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

指標を達成するために実施した事業とその実績

ア①子ども達の学びの側から「構想する」授業実践		期 間	～			
概要	公立小・中学校教職員の教育研究意欲を高め、教員の資質向上を図るため、町の教育の振興を図る。 ① 町学力充実研究指定校 ② 町教育委員会教育論文	事業費 (決算額) 単位:千円	R2	R3	R4	R5
			1,424	1,427	1,250	
令和5年度の 取組内容	町学力充実研究指定校では、2年目を迎えた中部小学校が11月に研究発表会を行い、研究の成果を町内の学校へ普及した。また、町教育委員会教育論文については、個人論文33品、学校論文8品の出品があり、研究の成果を得た。					

指標を達成するために実施した事業とその実績

ア②熊本県教育庁と連携した研修の充実		期 間	令和2年 ～ 終期未定			
概 要	①「熊本の学び」ステップ・アップ研修を実施し、授業力向上を図る。	事業費 (決算額) 単位:千円	R2	R3	R4	R5
			0	0	0	0
令和5年度の 取組内容	令和5年度「熊本の学び」ステップ・アップ研修を町内の1中学校、3小学校で行い、各学校の実態や研究テーマに沿った内容で研修を行った。その中では授業研究会で「授業改善」に関する助言や主体的に学習に取り組む集団づくりについての演習等を行った。					

イ③小学校教科担任制の実施に向けた取組の推進							期 間				令和2年 ～ 終期未定				指標を達成するために実施した事業とその実績
概要	担当教科の教材研究を深めることで、より授業の質の向上を提供するとともに、学力の学級間格差をなくし、ひいては、中学校との円滑な接続を行うことで、児童の学力の向上を目指すことを目的とする。						事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4				
									105	0	0				
令和4年度の取組内容	令和4年度では、教務主任会を中心に情報交換を行いながら取り組んだ。また、教科担任制での授業を受けた児童へのアンケートを行い、児童の意見を取り入れながら授業改善に取り組んだ。														

イ④少人数指導・習熟度別指導による、個別最適な学びの推進		期 間	～			
概要	少人数指導・習熟度別指導を行うことで、児童生徒によりきめ細やかな指導を行うことで、児童生徒の学力の向上を目指すことを目的とする。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1 0	R2 0	R3 0	R4 0
令和4年度の取組内容	少人数加配がある学校において、小学校では算数、中学校では数学、英語の少人数指導・習熟度別指導を実施した。					

【Check】 事業の評価【Action・Plan】 今後の方向

成果と課題	県学力調査においては、小3の算数及び小5の算数を除くほぼ全ての教科において、県の平均を超えた。また、全国平均と比較して、目標を達成している教科は14教科中10教科となった。今後目標を達成するためには、児童生徒が課題意識持ち、主体的に学習するための授業改善を行うと共に、「陽光(さん)と輝くみらいっ子マップ」に記載している家庭学習時間を基準にした家庭学習の充実を図り、自ら学ぶ力を向上するための手立てが必要である。						成果と課題のまとめ
	●先生たちの研究意欲を向上させるためにも、積極的に教育論文を募集していただきたい。 ●教科担任制については、授業の質の向上やクラス間の格差を減らし、教職員の負担軽減にも繋がっていることから、今後もしっかりと進めていただきたい。 ●少人数指導や習熟度別指導については、本人の希望に合ったきめ細やかな指導を進めていただきたい。						外部評価委員の意見のまとめ